

# 「実践的テスト設計」

## 担当講師

株式会社iTest 山内政弘

## 概要

テスト技法(ブラックボックステスト・ホワイトボックステスト)の概要を講義で学び、疑似的に作り上げたプログラムを使って、テスト技法(ブラックボックステスト・ホワイトボックステスト)の実践的な使い方を学ぶ。

またテスト設計の概要を講義で学び、予め用意されたテンプレートを使って段階的なテスト設計を学ぶ。

レビューについては、概要を講義で学び、テスト設計の演習で作成した成果物に対して模擬レビュー(演習)を行う。

すべての演習が終了後、グループによる発表、グループディスカッションを行う。

## この演習を修了したときに期待するスキル、人物像

以下の実践的知識・技術を備え、テスト設計者として活躍できる技術者の育成を図る。

- テスト技法(ブラックボックステスト・ホワイトボックステスト)を駆使したテスト設計
- 段階的なテスト設計(体系的なテスト設計)

## 受講の前提

組込み適塾の講義を受講しているか、テスト技法またはテスト設計の技術の活用経験があること。

C言語でプログラミングが出来ること、またはC言語でのソースコードを理解出来ることが望ましい。

## 講義・演習内容

- 10月5日(木): 次の項目を講義する。
  - ・ソフトウェアテスト概論・ソフトウェアテストの基本事項
  - ・ブラックボックステスト・各種ブラックボックステストこの後、2人1組のグループで、疑似的なプログラムを操作しながらブラックボックステストを実施し、(予め埋め込まれた)バグを検出する。～ペアテストの実施
- 10月12日(木): 次の項目を講義する。
  - ・ホワイトボックステスト・各種ホワイトボックステストこの後、2人1組のグループで、疑似的なプログラムを操作しながらホワイトボックステストを実施し、(予め埋め込まれた)バグを検出する。～ペアテストの実施
- 10月19日(木): 次の項目を講義する。
  - ・テスト設計・各種テストドキュメントの概要、その役割などこの後、2人1組のグループで、予め用意したドキュメント(要求定義・機能仕様書など)を基に、テストドキュメントを作成する。
- 10月26日(木): 次の項目を講義する。
  - ・レビュー・テストドキュメントに特化したレビューこの後、2人1組のグループで、3日目に作成したテストドキュメント(テスト設計仕様書やテストケース仕様書など)を基に、模擬レビューを実施する。その後、成果物作成の観点などを発表し、グループディスカッションを行う。

## 教科書

R.Craig / S.P.Jaskiel、体系的ソフトウェアテスト入門、日経BP

## 参考書

C.Kaner / H.Q.Nguyen / J.Falk、基本から学ぶソフトウェアテスト、日経BP

## 評価の基準

講義・演習出席 50% 発表 50%